

市町村建設計画「緑あふれる新県都プラン」

平成17年度実施計画

平成17年4月

秋田市

目次

計画の概要	2
章別計画	
第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまち	3
第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち	6
第3章 安心して健康に過ごす助け合いのまち	8
第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまち	11
第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまち	12
進捗状況	13

計画の概要

1. 策定の趣旨

新市の特性を最大限に活かしつつ、市域全体の均衡ある発展と速やかな一体性の確保と市民生活のさらなる向上を図り、「しあわせ実感 緑の健康文化都市」を実現していくため、「緑あふれる新県都プラン」に示された施策を構成する個別の事業をまとめ、これを示すものです。

2. 計画の期間

本計画の期間は平成17年度から平成27年度までの11年間とし、前期6年(平成17年度～平成22年度)、後期5年(平成23年度～平成27年度)に区分していません。

3. 計画の構成と対象事業

「緑あふれる新県都プラン」の章・節ごとに、市が実施主体となって行う事業や市が費用負担・補助を行う政策的事業を掲載しています。

今回は、同プランに掲載する119事業と追加された1事業のうち、17年度当初から予算化された57事業について掲載しています。

4. 計画の実効性と弾力性の確保

計画の推進にあたっては、社会経済状況や市民の行政需要、財政状況等の変化に適切に対応しながら進行管理を行い、計画の実効性と弾力性を確保することが必要です。このため、本計画は毎年度の事業計画(予算編成)を踏まえて改訂を行っていきます。

章別計画

- 第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまち
- 第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
- 第3章 安心して健康にすごす助け合いのまち
- 第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまち
- 第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまち

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまち			5,845,923
第2節 交通体系の整備			370,759
秋田都市圏総合都市交通体系調査負担金	合併により新秋田都市圏の交通需要や地域間の結びつき、土地利用、都市施設等との関係に大きな変化が生じると予測されることから、合併後の都市交通の実態調査を実施し、新市交通網マスタープランを含めた総合的な都市交通計画を策定する。この計画に基づき、合併後の新市における新たな都市計画道路の決定や長期未着手路線の見直しを行う。	実態調査(都市OD調査、スクリーンライン調査)	20,000
バス交通総合改善事業	「秋田市の公共交通(バス)に関する基本方針」に基づき、本市に適した公共交通体系の具体化について検討・改善し、市民・事業者等との連携・役割分担のもと、少子高齢化にも対応した市民の移動手段の確保と充実をはかる。	豊岩、下浜、浜田線における委託運行の試験的実施。東部地区の利用実態調査。バス事業者による路線再編・ダイヤ改正等の検討。委託運行負担金は、17、18年度の債務負担行為を設定。	1,012
地方バス路線維持対策経費	輸送人員の減少により、運行維持が困難となっている赤字路線について、国、県、市の要綱に基づき、バス事業者に対し、助成を行う。	・旧秋田市260,500(交通局:2,500 中央交通:258,000) 雄和地域64,847 河辺地域24,400	349,747
第3節 道路網の整備			2,417,840
街路事業 土崎駅前線	JR土崎駅の交通結節点としての機能を十分に発揮させるとともに、鉄道交通の利便性向上をはかるため、駅前周辺の狭隘な道路を拡幅整備する。(土崎駅前線L=348mW=18m 駅前広場A=4,500㎡ H13~)	用地取得、補償、駅前広場詳細設計等	521,250

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
幹線道路整備事業(飯島金足線)	市中心部の交通渋滞緩和と地域間の速達性向上、さらに本市北部地域と河辺・雄和地域とのアクセス性向上のため、市街地外縁部を南北に縦断する骨格道路として飯島金足線を整備する。 (L=3,200m、W=24.0m H8～)	飯島工区:橋梁上部工、盛土撤去、道路築造工	455,000
幹線道路整備事業(南部中央線)	国道7号及び13号の交通負荷を軽減し交通渋滞を緩和するとともに、河辺・雄和地域と本市南西地区を經由して市中心部とを結ぶ幹線道路として南部中央線を整備する。(L=2,200m、W=20.0m H11～ 建設計画としてはH17～茨島工区L=750m分のみ)	用地取得、補償、道路築造工事	374,550
道路改良事業(和田松湊線)	和田駅南口から七曲臨空港工業団地、秋田空港方面への利用者増加に伴い、道路の拡幅改良を進める。	調査実施設計 一式	10,000
防雪柵整備事業(戸島畑谷線)	冬期間の道路の吹き溜まり防止や視程障害の緩和をはかり、車両及び通学児童の通行の安全を確保するため、戸島畑谷線防雪柵を整備する(延長L=847.5m 防雪柵高H=3.5m)	防雪柵整備 L=847.5m	84,500
県施行合併支援関係道路整備事業負担金	合併支援に資する県施行の街路事業に対する負担金を支払う。	秋田中央道路、川尻広面線、千秋広面線、新屋土崎線、秋田駅東中央線	972,540
第4節 市街地の開発整備			1,590,822
秋田駅東第三地区土地区画整理事業	秋田駅東玄関口としてふさわしい街並みを形成するため、道路・公園等の都市基盤の整備と宅地の整理を行い、健全な市街地の形成をはかる。(地区面積45.5ha/事業施行期間 H5年度～/都市計画道路8路線 L=2,874m/公園整備7箇所A=14,150m ² /区画道路100路線L=10,967m/建物移転 1,097戸/特殊道路12路線L=428m)	都市計画道路2路線の各一部/区画道路5路線の各一部/建物移転補償23件/用地取得一式	1,285,200
秋田駅西北地区土地区画整理事業	JR、国鉄清算事業団等の空閑地の土地利用転換を契機に、都市計画道路によりJR奥羽本線によって分断されている東西間の一体化をはかり、本市の都心部にふさわしい機能形成を行うための高度な都市基盤整備を行う。(地区面積 5.8ha/事業施行期間 H6年度～/都市計画道路3路線L=821m/公園整備1箇所A=1,736m ² /区画道路11路線L=914m/建物移転63戸/特殊道路1路線L=37m)	建物移転補償5件	241,000

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
秋田駅東拠点地区土地区画整理事業	秋田駅周辺地区まちづくり総合支援事業の整備計画に基づき、都市機能の受皿となる基盤整備を行う。(地区面積 A=10.3ha 権利者数 56名 建物移転 17戸 東口駅前広場 A=10,000㎡ 都市計画道路 4路線L=1,063m 区画道路9路線L=893m 特殊道路2路線L=158m 公園2ヶ所)	換地清算事務、清算金徴収および交付事務、収用委員会関係事務	41,622
秋田駅東西歩道橋(Weロード) 西側昇降口整備事業	Weロードの自転車通行を可能とするため、西側昇降口等の整備工事を行う。	Weロード西側昇降口整備工事実施設計	18,000
中心市街地開発検討経費	中心市街地の公共用地を有効活用するため、民間開発事業に対応した公共用地活用の調査・研究を行う。	民間開発事業に対応した公共用地の有効活用の調査・研究を行う。	5,000
第5節 住宅環境の整備			443
住宅マスタープラン推進事業	「快適体感 しあわせ住まいづくり」を基本目標に掲げ、住宅のバリアフリー化、防災に配慮した住宅市街地の形成、良質な住宅ストックの形成、まちなか居住および雪との共生の5つの重点テーマの推進と推進施策を支える情報の提供を行う。	市営住宅等の入居者募集に関する情報提供。住宅の簡易耐震診断の実施。耐震改修技術向上の研修会の開催。住宅の耐震改修の専門家による相談会の実施。	443
第6節 上・下水道の整備			862,500
公共下水道管渠建設事業(河辺地域)	汚水管整備を進め、水洗化の普及拡大をはかる。(H17年度～総事業費1,800,000千円・汚水面整備 諸井、豊成地区他 A=52ha 事業費は管渠建設事業費の内数)	汚水面整備(諸井地区他) 17ha	300,000
特定環境保全公共下水道事業(雄和地域)	雄和地域における公共用水域の汚濁と自然環境の悪化を防ぐため汚水管整備を進め、水洗化の普及拡大をはかる。(H17年度事業費203,000千円・汚水面整備 相川地区 A=9ha 平成17年度に事業完了予定)	汚水面整備(相川地区) 9ha	203,000

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
岩見三内地区統合簡易水道事業	将来にわたり安全な水の安定供給が可能となるよう、河辺岩見三内地区にある老朽化した5つの簡易水道を一つに整理統合する。	配水管布設 50～150 L=10,000m 配水管及び浄水場集中監視装置実施設計委託 他	359,500
第7節 都市緑化の推進			497,113
北野田公園(仮称)整備事業	市民のスポーツ・レクリエーションや憩いの場として整備するとともに、併せて、平成19年秋田わか杉国体の硬式テニス競技会場としての活用をはかるため、北野田公園を整備する。(A=5.6ha 総事業費1,788,741千円 アリーナ(屋内2面)、屋外8面コート(砂入り人工芝)、クラブハウス、緑地広場ほか)	屋外テニスコート8面、園内道路L=437m、駐車場・構内整備一式、備品購入一式	497,113
第9節 資源循環システムの充実			3,651
不法投棄未然防止強化対策事業	廃棄物の不法投棄に対応するため、投棄者や排出事業者責任等の調査・追求を行う。また、不法投棄が繰り返し行われる場所には、監視カメラ・告知看板等を設置し、不法投棄の未然防止をはかる。さらに、河川管理者、道路管理者等の関連機関で、連絡会等を開催し、調査・回収や防止策についての情報交換等を行う。	・監視カメラ等の設置 ・監視車両の配備 ・関係機関との連絡会等の開催	3,616
家庭系ごみ分別推進事業(ごみ分別井戸端会議)	分別の必要性に理解を求めるとともに、適正な分別を指導するため、各地域で井戸端会議を開催する。また、市民の意見を聞き、現状の分別方法等について検証を行う。	各地域でごみの分別に関する講座(ごみ分別井戸端会議)を開催する。	35
第10節 高度情報化への対応			102,795
固定資産税地理情報システム構築事業	航空写真撮影を行い、地番現況図・家屋現況図・地目現況図等の各種図面をデータベース化する。	・航空写真撮影 ・写真図および地番現況図の作成	102,795
第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち			1,532,258

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
第1節 商業・サービス業の振興			2,200
ハートぴあ秋田(産業フェア)事業	新市の産業振興をはかるため、産業フェアを開催し、企業の交流や連携を進め、地元企業の創業・成長発展を促進する。(H17～H19、土日の2日間にわたって開催。3年間の継続効果があるよう、各年度のテーマを設定する) ハートぴあ=「ハート」と「ユーピア」の造語、ハート(心)をかよわし、ユーピア(理想的な社会)である秋田を創造する。	ハートぴあ秋田を開催。テーマ:「交流・発見」 新市産業の商品・製品・サービスの展示、市民参加の新商品・サービスのアイデア募集など	2,200
第6節 観光・コンベンションの振興			34,232
岩見温泉整備事業	老朽化した岩見温泉を、観光客の立ち寄り湯として、また地域住民の保養の場として整備する。H17年度は外部塗装等工事(外壁張替・屋根塗装等)、H18年度は空調工事を予定。	外部塗装等工事(外壁張替・屋根塗装等)	14,417
華の里施設整備事業	雄和地域の観光拠点として整備している「華の里」地区のトイレ不足解消のため、来客者用のバリアフリー対応の公衆トイレとイベント開催時のテント敷設用の通路の整備を行う。また、雄物川の眺望を確保するため河川敷の杉の間伐を行う。	・来客者用のバリアフリー対応の公衆トイレとイベント開催時のテント敷設用の通路の整備 ・河川敷の杉の間伐	19,815
第7節 農林水産業の振興と市場流通システムの整備			1,495,826
下北手中央農業集落排水事業	下北手中央地区農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。	処理施設:用地買収、管路工L=5,160m	460,000
秋田市農林水産業振興戦略会議運営経費	「秋田市農林水産業振興戦略会議」において新「秋田市農林水産業・農村振興基本計画(案)」を策定する。	新「農林業・農村振興基本計画」作成と戦略会議の開催	3,075
種平農業集落排水事業	雄和種平農業集落排水について、管路工事を行う。	管路工L=2,089m	203,350
岩見農業集落排水事業	河辺岩見農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。	管路工L=2,300m、処理施設:建築・機械・電気	323,000

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
神ヶ村・繫地区水洗化調査事業	雄和神ヶ村・繫地区の水洗化にあたり、生活排水処理施設の整備手法などの調査検討を行う。	調査	1,000
土地利用型農業生産振興事業(競争力強化生産総合対策事業)	新あきた農業協同組合が雄和芝野地区に整備する初乾燥調製施設(大豆乾燥調製併用型)に対し、事業費の一部を助成する。(受益戸数:水稲78戸、大豆110戸、受益面積:水稲151ha、大豆52ha、総事業費 434,595,000円)	水稲乾燥調製施設(大豆乾燥調製併用型)導入	217,297
農道整備事業(河辺地区)	農道網の幹線的な農道を整備し、農業生産の近代化と農村の生活環境の改善をはかる。	河辺田尻:実施、用地測量 河辺畑:改良工事	53,500
県営ため池等整備事業	県が実施する土地改良施設等整備事業費の一部を市が負担する。(市負担金:7.5~20%)	ため池:金足乃木、金足駒込、上北手猿田沢 用排水施設:仁井田堰	8,104
県営経営体育成基盤整備事業	県が実施する土地改良施設等整備事業費の一部を市が負担する。(市負担金12.5~15%)	下新城西部、河辺大沢、河辺赤平、雄和芝野、雄和芝野東部、雄和種沢、雄和新波、雄和女米木、雄和銅屋	226,500

第3章 安心して健康にすごす助け合いのまち

566,806

第1節 地域福祉の推進

12,913

地域福祉計画推進経費

平成15年度に策定した地域福祉計画に基づき、ワークショップを開催するなどして、地域福祉を推進し、全ての市民が相互に支え合い助け合う地域づくりをめざす。

・地域福祉推進事業(ワークショップ)の実施

1,384

けやきのまちなしあわせプラン推進事業[障害者プラン推進経費]

将来必要な保健福祉サービスの量を明らかにし、必要とされるサービス提供体制を計画的に整備することを目的とし障害者プランを作成する。

・アンケート調査の実施・策定委員会の開催

6,677

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
けやきのまちなしあわせプラン推進事業 [高齢者プラン推進経費]	将来必要な保健福祉サービスの量を明らかにし、必要とされるサービス提供体制を計画的に整備することを目的とし高齢者プランを作成する。	・アンケート調査の実施・策定委員会の開催・高齢者プランの冊子製本	4,852
第3節 障害者保健・福祉の充実			155,823
身体・知的障害者交通費補助事業	身体・知的障害者(児)の社会参加促進のため、バス運賃無料化及び通院移送費(タクシー代)の給付を行う。	バス運賃無料化事業: 福祉特別乗車証を交付。 通院移送費給付事業: タクシー利用券を交付。(1枚580円、人工透析患者=月16枚、その他=月4枚)	145,964
精神障害者交通費補助事業	精神障害者の継続的な通院と生活基盤の安定をはかるため、通院や通所する際に市内路線バスを利用する精神障害者保健福祉手帳所持者を対象に、福祉特別乗車証を発行し、バス料金を無料化する。また、小規模作業所や事業所へ訓練通所する際に市内路線バス以外の交通費を要した場合、これを補助する。	・バス無料化事業対象者数見込:514人・作業所等通所交通費補助事業対象者数見込:4人	9,859
第4節 母子保健・児童福祉の充実			25,000
児童福祉施設等整備推進事業	保育所等の入所児童の処遇改善をはかるため大規模修繕等の施設整備および設備整備(通園バス更新)を行う。	川添保育所の増築および大規模改修	25,000
第5節 保健体制の充実			17,037
健康増進情報システム関係経費	健康増進情報システムに乳幼児健診、予防接種、健康診査等の受診結果等を入力し、個人データの経年的管理や各種集計を行う。また、健康情報を一元管理することにより、歯周疾患検診や骨粗鬆症検診の受診対象者、胃がん検診の未受診者を抽出し、受診勧奨に活用するほか、基本健康診査の結果から、貧血や糖尿病、肥満等の各予防教室の対象者を抽出するなど、健診の事後指導に活用する。	・システムを活用し、地域住民の健康状況を経年的に把握し、保健指導の充実をはかるとともに、疾病の予防をはかる・システムの維持管理・システムの修正および構築・次期システムの検討開始	14,412

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
健康あきた市21計画推進経費	広報、マスメディアおよびホームページ等を活用した啓発活動に努めるとともに、健康づくり運動を市民運動として定着させるため、健康づくりに関する情報提供や健康フォーラムの開催等により、市民の健康づくりに対する意識の醸成をはかる。	・合併に伴う「健康あきた市21」と旧河辺・雄和両町の計画との調整・「健康づくりフォーラム」開催等の健康づくり運動啓発事業の実施	2,625
第6節 衛生体制の充実			12,000
河辺墓地改修事業	河辺墓地を安全に利用できるよう改修工事を行う。	河辺墓地の改修工事	12,000
第7節 医療・救急体制の充実			55,115
救急業務高度化推進事業	救急需要の大幅な増加を踏まえ、高規格救急車の新規導入・更新と救急救命士等の養成を計画的に推進する。また、救急資機材等の整備充実につとめるとともに、応急手当の普及啓発事業を促進する。	雄和地域に高規格救急車を新規導入し、救急救命士2名および救急隊員4名を養成する。	55,115
第9節 消防力と防災体制の強化			288,918
消防通信施設整備事業経費	119番回線の集約と消防無線周波数の統一および消防無線中継施設の建設を行う。また、消防本部通信指令システム改修と合併消防機関への通信指令装置および消防OA端末の増設、東北総合通信局への申請手続き等を行う。	119番回線の集約と消防無線周波数の統一および無線中継施設の建設を行う。また、消防本部通信指令システム改修と合併消防機関へ指令装置および消防OAシステムの増設を行う。	274,541
消防水利整備事業(河辺、雄和地域分)	消火栓の新設、移設と防火水槽の新設、修繕を行う。また、耐震性貯水槽については、計画的に充足をめざす。	岩見三内地区簡易水道統合整備に伴う消火栓の新設・撤去および雄和地域の水利未充足地域への消火栓新設。また、漏水など損傷の著しい防火水槽の解体、撤去	14,377

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまち			40,683
第1節 学校教育の充実			32,068
小・中学校増改築等事業(河辺地域分)	老朽化が著しい校舎、体育館の改築を行うとともに、児童・生徒数に応じ、適切な学校規模とするため、年次計画で、校舎および体育館の増築を行う。	岩見三内小(校舎・屋体)耐力度調査8,592	8,592
小・中学校増改築等事業(雄和地域分)	老朽化が著しい校舎、体育館の改築を行うとともに、児童・生徒数に応じ、適切な学校規模とするため、年次計画で、校舎および体育館の増築を行う。	雄和中(校舎・屋体)耐力度調査	7,649
小・中学校大規模改造事業(河辺地域分)	経年により通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧はもとより、諸室の再配置等の大規模改造を行うことにより、教育環境の改善をはかる。あわせて建物の耐震性および耐久性の確保をはかる。	戸島小(校舎)耐震診断	6,725
小・中学校大規模改造事業(雄和地域分)	経年により通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧はもとより、諸室の再配置等の大規模改造を行うことにより、教育環境の改善をはかる。あわせて建物の耐震性および耐久性の確保をはかる。	川添小学校(校舎・屋体)耐震診断	7,134
小・中学校情報教育環境整備事業(雄和地域)	雄和地域における小中学校の情報教育環境を改善するため、リース期間終了後も継続使用している情報教育用コンピュータ等を更新する。	雄和中学校で37台の情報教育用コンピュータを更新	1,968
第5節 市民文化の振興			8,615
民俗資料館等整備事業	雄和・河辺地域の民俗関係資料館等の施設設備を整備するとともに、文化財各部門の資料を収蔵するために共用収蔵施設を検討する。	ふるさとセンター施設設備等整備	8,615

事業名	全体事業概要	17年度事業概要	H17当初予算 (単位:千円)
第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまち			4,036,276
第6節 行政改革の推進と行政能力の強化			4,036,276
秋田市総合計画策定および推進経費	計画的かつ効率的な市政運営のため、市民ニーズの把握と行政評価による客観的・合理的な施策の選択を基本として、おおむね5年ごとに秋田市総合計画を改定するとともに、その適正な推進をはかり、限られた財源で最大の成果実現をめざす。平成17年度に「しあわせづくり市民意識調査(仮称)」を実施し、18年度に第11次総合計画を策定する。また、第10次総合計画の進行管理を行う。	・第11次総合計画策定の基礎資料とするため、しあわせづくり市民意識調査(仮称)を実施する(市民意識調査経費は当初予算0円:年度中に補正対応予定)。・第10次総合計画の進行管理。	275
電子入札運営事業	入札制度の公平性、透明性の向上をはかるため、平成16年度に導入した電子入札システムを運用する。電子入札においては、インターネット上で入札情報の提供や指名業者への通知、業者の入札書の提出や業者登録の申請等を行うとともに、入札結果を自動的に開札し公表する。	業者説明会を工種・格付ごとに開催するほか、個別に指導を行う。業者・市民向けに入札案件、入札結果等の情報公開を行う。	25,001
地域個性発揮事業	河辺・雄和両地域における住民の意見やアイデアを参考にしながら、地域のコミュニティ活動や独自イベント、伝統文化の継承・活用などについて、その実施主体の活動を支援することにより、地域の個性を発揮させ、活力あるコミュニティづくりに資する。	河辺地域 5,000千円 雄和地域 5,000千円	10,000
(仮称)市民サービスセンター整備基本計画策定経費	市内7地域に配置する(仮称)市民サービスセンターの整備基本計画を策定する。	(仮称)市民サービスセンター整備基本計画策定	1,000
緑あふれるまちづくり基金積立金	合併後の本市における市民の連携の強化および地域振興のため、当該基金を平成17年度に造成する。	当該基金の造成	4,000,000
			12,021,946

進捗状況

	事業数	事業費
「緑あふれる新県都プラン」の掲載事業	120(1)	950億円(2)
うち17年度実施事業	56(3)	120億2,194万6千円
(再掲：河辺地域関係事業)	(13)	(16億9,372万4千円)
(再掲：雄和地域関係事業)	(13)	(7億7,432万円)

1 「緑あふれる新県都プラン」には119事業が掲載されていますが、平成17年度からは1事業（地域個性発揮事業）が新規事業として計画に追加されました。

2 「緑あふれる新県都プラン」策定時の財政計画上の金額であり、各年度の事業計画の決定状況によって変動します。

3 平成17年度には、さらに追加で2事業を補正予算をもって実施する予定としています。

17年度末現在の進捗状況は、事業数ベースでの着手率は49%、事業費ベースでは13%になります（いずれも参考値です）。